

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	新設小学校建設事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	学校施設課				
施 策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	大塚 昌浩				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	学区内の児童	意図	おおたかの森駅周辺を中心とした人口急増による就学児童数の大幅な増加に対応するため、新たに小学校を建設することで、教育環境の基盤充実を図る。
事業内容	大畔地区に小学校を建設するための設計業務及び建設工事			
事業開始から現在までの状況変化	平成29年度より、学校用地（小学校）取得事業と合わせて、当該敷地における物件調査、測量及び学校施設の基本計画に着手した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	設計業務進捗率			5.96	%	777
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
平成29年度より、物件調査、現地測量及び基本計画に着手した。

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)			33,839,120
事業費(b)(円)			28,286,320
うち一般財源			25,209,520
職員給与費(c)(円)			5,552,800
人役・職員(人)			0.65
人役・再任用(人)			0.50
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	新規事務事業により記載なし	③取組の課題	学校用地（小学校）取得事業の進捗に影響を受ける。
②今年度(H29)に実施した取組	新規事務事業により記載なし	④今後(H30以降)の改善計画	事業間の調整を取り、両事業を円滑に進める。